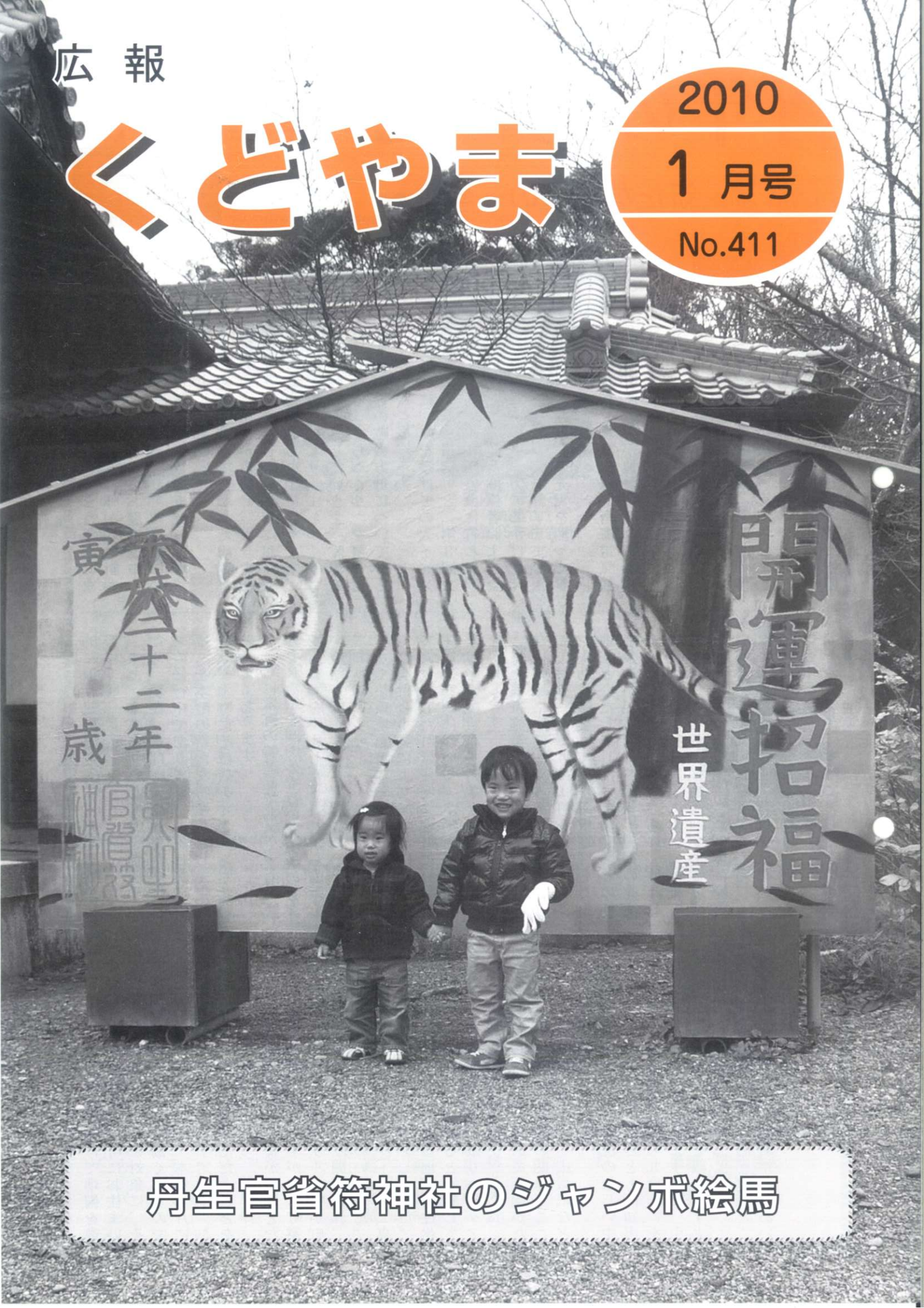
広報

くどやま

2010
1月号
No.411



丹生官省符神社のジャンボ絵馬

新年のあいさつ

～新たな飛躍の一年に～

九度山町長　岡本　章

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。また平素より町政全般にわたり格別のご支援ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は国内で行われた総選挙の結果、政権交代が実現し、大きな転換期となる一年でした。本町においては、財政状況の厳しい中にあっても、皆さまのご協力により「まちづくり」が進んでいると感じています。昨年の本町における「まちづくり」を振り返り、これからの町の方針について少し述べてみたいと思います。

まず始めに、町を挙げての大イベントであります「真田祭」と「第3回大収穫祭ＩＮ九度山」が盛大に行われ、ご協力いただきました関係者および会場を訪ねられた皆さま方のおかげを持ちまして、成功のうちに終了しました。本年も引き続き内容の充実を図って参ります。

次に、現在、和歌山県、南海電気鉄道(株)、そして本町が協働で進めております「わがまち元気プロジェクト」事業について、その成果をご報告いたします。昨年、名古屋市において報道関係や旅行業者関係に対しプロモーション活動を行い、その結果、本町への多くのバスツアーが決定、実施されました。その他、福岡市など各地で本町をＰＲして参りました。今後も本町の魅力を全国に発信し、観光客誘致に積極的に取り組むとともに、町の活性化に努めて参ります。

また、本町に新たな産業を創出するため、現在、そば職人候補生がそば打ちの修行中であります。「紀州真田そば」を本町の新たな特産品として完成させ、本町にそば店をオープンしたいと考えております。

さらに本町の特産品である「富有柿」のＰＲ活動を国内外で行い、現地の方々から好評を得ました。これからも新しい販路を開拓すべく継続したいと考えております。

さて住環境施策においては、まちづくり交付金事業により旭地区に建設中でありました町営住宅（地域優良賃貸住宅）26戸について、本年新婚世帯または子育て世帯を対象として、入居者を募集します。

また福祉施策では、公共交通機関のない地域にお住まいの高齢者を対象としております「九度山町シルバータクシー助成事業」では、河根地区も対象地域といたしました。今後高齢者の社会参加が促進されるよう、施策の充実に努めてまいります。さらに、昨年12月から社会福祉協議会において福祉有償運送（事業名：移動送迎サービス）が開始されています。これは体に障害がある方と要介護認定者等のうち、一人では公共交通機関を利用できない方を対象に、タクシー料金の半額程度で送迎する事業であります。

その他現在、本町においてシルバー人材センターの設立に向けて準備を進めております。これは本町にお住まいのおおむね60歳以上の方を対象に、その経験や能力を活かして働くことのできる場を提供するもので、本年3月に設立し、業務を開始する予定です。ふるってご入会、ご利用いただくことを希望しております。

次に昨年、町民の皆さまが主体となり行われた事業でありますが、「町家の人形めぐりと街中コンサート」が町内多くの方々の協力により開催され、たくさんの観光客でにぎわいました。また、町民グループの運営による、「真田いこい茶屋」がオープンしました。これら町民の皆さまによる地域活性化が徐々に裾野を広げていると実感しており、町としてもできる限りバックアップして参りたいと考えております。

他にもまちづくりについて話題がたくさんありますが、紙面の関係上ここでは割愛させていただき、広報紙などで報告させていただきます。

本年もまだまだ財政状況の厳しい中ではありますが、皆さまとともに知恵を出し合い、「元気なまち九度山」を目指してがんばって参りますので、引き続き格別なるお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈りし、新年のごあいさつといたします。

寅年生まれ 年頭によせて

今年は寅年。干支の３番目で、十二支の中では決断力と才知を持ち、意思が強くて実行力もあるので、強いリーダーシップを発揮すると言われています。

今年も寅年生まれの方々に、年頭によせてのさまざまな『思い』をつづっていただきました。

『感　謝』

堀内　成悟さん
（九度山）
大正15年生まれ

あけましておめでとうございます。

七回目の年男も健康で迎えることができ、とてもうれしく思っています。

毎朝、四方の神々様・ご先祖様に、今日も一日平穏でありますようにと、お願いしています。

無事定年を迎えた私は、看護師を三十余年務めた妻と二人で、これから第二の人生をという時に、妻がギランバレー症候群という聞いたこともない病気に襲われました。その後快方に向かうも全身まひの症状が残り、以来、体幹機能障害と闘い続けて十六年となります。

今も『奇跡を信じよう』と私たち二人を心身ともに温かく見守ってくださる人々のおかげで、前向きに充実した日々を送ることができています。

また皆さまのご協力により少しの時を活かして、妻の好きな花を植えたり野菜作りができるようになり、皆さまに感謝しております。

町民の皆さま方におかれましては、今年もご健康でよいお年でありますよう、また町のますますのご発展をご祈念申し上げます。

ありがとうございました。

報恩感謝の日々を！

萱野　正治さん
（九度山）
昭和13年生まれ

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

おかげさまで六回目の寅年を迎えることができました。これもひとえに家族や地域の皆さま方の支えによるものと、厚くお礼を申し上げます。

旧国鉄に在職中、新幹線の営業計画や運転計画等に携わったこと、退職後旅行会社に勤めて、国内外の人々との触れ合いを通して歴史や文化等について見聞を広げられたことは、多忙な業務の中で最も充実した人生でありました。

今後は数多くの出会いの中で、私をはぐくみ支えてくださいました皆さま方に、報恩感謝の心で、高齢者の方々の介護予防、認知症のボランティア活動に協力し、学習と実践に微力ながら日々精進して参りたいと考えています。

最後に、九度山町のさらなる発展と町民の皆さま方のご多幸をお祈りいたします。

六十歳からの人生

尾鼻志津代さん
（中古沢）
昭和25年生まれ

明けましておめでとうございます。

『六十歳』この数字にあまり実感がわかないですが、少しずつ感じています。年齢を重ね、職を退いてから送る生活を「余生」といいますが、字面を見ると「余りの人生」とも読むことができます。しかし医学の進歩、食生活の充実などによって日本人の平均寿命はぐんぐんと伸びました。「余生」はすでにおまけの人生ではなく「仕事時代」と肩を並べるほどメインの時代だと思っています。私は今、元気に仕事に就いています。健康で過ごしていられるのは、周りの友のおかげと心から感謝しています。精いっぱいがむしゃらに走ってきた前半とは異なり、折り返し地点を過ぎた人生後半は、自分なりのペースで進むことを大切にしたいと願っております。

感謝

楠　園美さん
（椎出）
昭和37年生まれ

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

早いもので、四度目の寅年を迎えることとなりました。

九度山町に嫁いで二十五年、農業とは無縁な家に育った私は、柿作りについて何も知りませんでしたが、数年前から両親に教わりながら仕事を手伝うことになり、少しずつではありますが、柿作りの楽しみもわかってきたように思います。

今まで支えてくれた家族に、心から「ありがとう」と感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも、その感謝の気持ちを忘れず、五度目の寅年も、笑顔で迎えることができますよう努力して参りたいと思っております。

最後になりましたが、新春を迎え皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。

これからも町のために

安藝　弘哲さん
（入郷）
昭和49年生まれ

新年明けましておめでとうございます。

このすばらしい町、九度山で気持ちも新たに新年を迎えられたことを大変うれしく思っております。

昨年は、結婚という人生の新たな船出を迎えられたことに感慨深く思っております。これもひとえに両親をはじめ、周りの方々の支えがあったからこそだと感謝いたしています。

これからは新しい家庭を築いていき、将来は自分の子どもたちに、この町のすばらしさを伝えていきたいと考えています。また、体育指導委員や消防団活動を通じて、この生まれ育った町を今以上に明るく活性化させるためにも、貢献していきたいと考えております。

最後に、「健康第一」をモットーにいつまでも元気な寅年であることを願っています。

未来へ

坂中　麻里さん
（上古沢）
昭和61年生まれ

明けましておめでとうございます。

私は高校卒業後、四年間大学生活を送るため、京都で一人暮らしをしました。何不自由なく身のまわりのことをしてもらうのが当たり前のように過ごしてきた18年間。でも何もかも自分でしなくてはいけなくなり、今まで支えてくれていた両親、家族に感謝でした。そんな私も卒業後地元に戻り、教師をしています。まだまだ勉強しなくてはいけないことも多く、学生の頃より勉強しているように思います。日々「努力・頑張り」そして何より「健康・体力」です。

これからも、一日一日楽しく過ごせるよう悔いのない日々を送っていけたら幸いです。

皆さまにとっても、すばらしい年でありますように。

継続は力なり

吹本　貴也さん
（九度山小学校６年生）
平成10年生まれ

ぼくは、平成十年の寅年に生まれました。ぼくは野球が大好きで、一年生から学童野球を続けています。小学校最後の年、新宮の県大会に行ったり、高野山での大きい大会へ出場したり、とてもよい経験ができました。最後の大会は決勝で負けてしまい、とてもくやしかったです。これらのいろいろな経験を活かして、野球を続けたいと思っています。

こうして野球を続けられるのは、お父さんとお母さんが、お兄ちゃんやぼくのためにがんばってくれているからです。「ありがとう。」今年も、そしてこれからもよろしくお願いします。

今年の四月からは中学生。中学校でも野球に勉強にがんばりたいと思います。

背が高くなりたい

中邑あずさ さん
（古沢小学校５年生）
平成10年生まれ

今年私は好ききらいなく食べて、背を高くしたいです。私は背が低くて、同級生の子とでも十センチメートルぐらいの差があります。それに一つ下の四年生の子にも一センチメートル抜かれてしまいました。その時は残念でした。だからがんばってやってみようと思うのですが、あまり続かなくて背が低いままです。それに私は野菜がきらいで、ごはんもあまり食べないので、体重も軽いです。それに一番背が高くなりたいと思ったのは、今はいないけど、前にきれいで背が高くてかっこいい先生がいて、私はその先生を見て、「私もあの先生みたいに背が高くなりたいなぁ」と思いました。だからこれからは運動して、野菜をいっぱい食べて、いつかあの先生みたいになってみたいです。

きれいな字を書けたらいいなぁ

柳谷　紅秋さん
（河根小学校５年生）
平成10年生まれ

私は六年生になったら「毛筆」がうまくなりたいです。理由は、競書会で特金賞をとりたいからです。お母さんやおばあちゃんは、子どものころ特金賞をとっているから私もとってみたいし、三年や四年の子も特金賞をとったので、私はその子たちに負けたくないのです。

競書会では、練習のときにはいつもきれいに書けるのに、本番になると緊張して手が震えてガタガタになります。

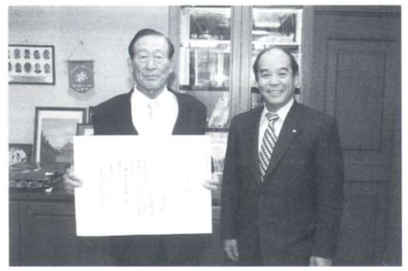
だから、これから毛筆をもっともっと練習して、競書会の清書のときでも手が震えないように、「はねる」ところや「はらう」ところが上手に書けるようにがんばっていきたいです。もちろん普段のノートの字をていねいに書くことが一番大切だと思っています。

表彰

農林水産業賞

12月4日、平成21年度農林水産業賞の表彰式が県庁で行われ、狭間享さん（慈尊院）が農業部門で表彰されました。

狭間さんは、各種農業団体の会長としてリーダーシップを発揮、柿の消費拡大等に大きく貢献され、集落内においては、農道整備のために地道な努力を積み重ねられ、受益者への地元説明会や同意書の取りまとめに奔走されたことが評価されました。



▲町長を訪問中の狭間さん（左）

「社会を明るくする運動」作文コンテスト優秀賞

平成21年度「社会を明るくする運動」作文コンテストにおいて、次の方々が九度山町長表彰を受賞されました（敬称略）。

●小学生の部・優秀賞
岡本　輝（九度山小6年）
鈴木　宏奈（九度山小6年）
岩井　俊樹（九度山小6年）

●中学生の部・優秀賞
栗林　明音（九度山中1年）
辻　章実（九度山中1年）
岡本　夢奈（九度山中1年）

富有柿の売り上げを社会福祉協議会へ寄付

12月10日、富有柿生産者を代表して九度山町農業振興協議会の方々が富有柿の売上げの一部を九度山町社会福祉協議会へ寄付されました。

これは九度山町富有柿品評会において出品され、第3回大収穫祭IN九度山においてチャリティ販売された富有柿の売り上げの一部で、まちの社会福祉事業の一部に充てられます。

柿料理を町外の子どもたちに伝える

11月24日、本町特産の富有柿の加工に取り組んでいる柿娘グループ（代表　玉置惠子さん）が、和歌山市の有功小学校の児童3年生を対象に、柿みかんジャムや柿のヨーグルトあえなどの柿料理づくり体験を行いました。

子ども達は真剣に柿の皮をむいたり、鍋でジャムを煮込んだりし、出来上がった後は、おかわりをする子もいて、おいしそうにジャムを食べていました。

代表の玉置さんは、今後も子どもたちに柿のおいしさを伝えていきたいと熱心に語っていました。

▲小学生に柿の切り方を教えている柿娘グループの女性

福祉有償運送を開始

このたび、社会福祉協議会では、福祉有償運送（移動・送迎サービス）を実施いたします。

このサービスは、障害者や要介護認定者等で身体または精神が虚弱なため、ひとりで外出することが困難な方の社会参加や通院などを支援するためのサービスです。詳細につきましては、社協広報紙をご覧ください。

■お問い合わせ先
九度山町社会福祉協議会（☎54－9294）

スポーツ

九度山ジュニアソフトテニスクラブが活躍

昨年の秋に開催されたソフトテニス大会において、九度山ジュニアソフトテニスクラブが次のとおり優秀な成績を収めました。

◎第13回和歌山県小学生ソフトテニス秋季選手権大会
開催日　平成21年10月17日
場　所　日高川町かわべテニスコート

●男子の部
優　勝　西畑　直輝（6年）
　　濱田　剛（6年）
5位入賞　森本　悦史（6年）
　　岡本　輝（6年）

●女子の部
準優勝　中堀　楓佳（6年）
　　川口　麻帆（6年）
9位入賞　谷口美紗希（5年）
　　山本　絢野（5年）

西畑、岡本、川口、谷口、山本の5名は、県代表として1月30日・31日に滋賀県で開催される第13回近畿小学生選抜インドアソフトテニス大会に、また西畑、川口の2名は、平成21年12月12日・13日に香川県で開催された、第3回西日本小学生ソフトテニス大会に参加しました。

◎橋本市民大会
開催日　平成21年10月18日
場　所　橋本市運動公園テニスコート

●ジュニア（小・中学生）女子Aクラス
優　勝　中堀　楓佳（6年）
　　川口　麻帆（6年）

●ジュニア（小・中学生）女子Bクラス
第3位　谷口美紗希（5年）
　　山本　絢野（5年）

●ジュニア（小・中学生）男子Bクラス
優　勝　谷口　亮冴（3年）
　　松原　幹（2年）

◎第9回全日本小学生ソフトテニス選手権大会
開催日　平成21年11月15日
場　所　和歌山市紀三井寺公園テニスコート

●5年生女子の部
第4位　谷口美紗希（5年）
　　山本　絢野（5年）

●4年生以下女子の部
準優勝　宮下菜々未（4年）
　　増谷　星来（4年）

●4年生以下男子の部
第4位　谷口　亮冴（3年）
　　松原　幹（2年）

谷口（亮）の5名は、県代表として3月29日～31日に千葉県白子町で開催される第9回全国小学生ソフトテニス大会に参加します。

九度山学童軟式野球クラブが好成績

「伊都郡学童軟式野球選手権兼・郵便局長旗争奪大会」において、九度山学童軟式野球クラブが優勝しました。同大会は、伊都郡内のチームが出場。11月1日の決勝戦では、渋田スポーツ少年団と対戦し、6回裏逆転の末、6－3で勝利し、見事優勝しました。

なお、11月23日に開催された「毎日旗争奪お別れ大会」においても、準優勝の好成績を収めています。

選挙管理委員の就任

このたび、海堀彰選挙管理委員（九度山）の退職により、12月1日付けで、次の方が選挙管理委員に就任されました。（敬称略）

○委　員　堀内　秀晃（慈尊院）

また、職務代理者には、岡　好治委員（九度山）が就任されました。

シルバー人材センター事務局職員を募集

3月に設立予定の九度山町シルバー人材センターの事務局職員を募集します。

■**募集人員**　1名

■**勤務内容**
依頼された仕事の受付、仕事の正会員への配分および配分金の支払いなど

■**勤務時間**
午前8時30分～午後5時15分

■**勤務地**
九度山町九度山　シルバー人材センター事務局

■**申込方法**
市販の履歴書（写真貼付）を総務課へ提出

■**申込期間**
平成22年1月29日（金）まで（土・日・祝日を除く）

■**応募資格等**
複式簿記ができる方

■**選考方法**
書類審査および面接により採用を決定

■**問合せ**
九度山町役場総務課（☎54―2019）

シルバー人材センターとは…

九度山町では、高齢者が「福祉の受け手に止まらず、社会の担い手」になることを目指して、九度山町シルバー人材センターを3月に設立するため、準備作業を進めています。

町内には、定年で勤めを辞められた方や、家業を後継者に譲られた方で、自分の経験や能力を生かして、体力に応じた仕事をすることで、生きがいを見出し、仲間づくりをし、地域社会に貢献したいと考えている健康な方がたくさんいらっしゃることと思います。

これらの高齢者の就業ニーズと地域に潜在している仕事を結びつけることで、高齢化社会を支える役割を果たすのが、シルバー人材センターです。

1人ひとりにあった仕事をしていただき、仕事の内容と就業の実績に応じて配分金を受け取る事業で『働くこと』により、物忘れの防止にもなり、人とのふれあいも深めていただけるものと思います。

対象となるのは、おおむね60歳以上の方で、健康で就業意欲があり、臨時的かつ短期的な就業が可能な方です。

シルバー人材センターへ入会して働きませんか

シルバー人材センターの趣旨、目的に賛同し、入会を希望される会員を募集します。

次のとおり会員募集の地区別説明会を開催しますので、お近くの会場までお越し下さい。

【申込対象者】
①九度山町にお住まいの方
②おおむね60歳以上の方
③健康で働く意欲のある方

【入会方法】　2月1日（月）から2月15日（月）の土・日・祝日を除く午前9時から午後5時までに、入会申込書と写真（3.0×2.5cm）2枚を添えて役場総務課までお持ち下さい。

※入会申込書は、1月25日（月）から役場総務課でお渡しします。

【入会・問合せ】　役場総務課（☎54―2019）

シルバー人材センター地区別説明会日程

開催日	時　間	場　所
1月25日（月）	午後1時30分～	梅林集会所
1月26日（火）	午後1時30分～	コミュニティ消防センター
1月28日（木）	午後1時30分～	椎出児童館
1月29日（金）	午後1時30分～	下古沢児童館
2月1日（月）	午後1時30分～	中古沢集会所
2月2日（火）	午後1時30分～	上古沢児童館
2月3日（水）	午後1時30分～	河根児童館
2月8日（月）	午後1時30分～	丹生川老人憩の家玉川荘
2月9日（火）	午後1時30分～	久保小学校
2月10日（水）	午後1時30分～	ふるさとセンター4階会議室

※各地区での開催日に出席できない方は、2月10日（水）にふるさとセンターへお越しください。